



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 ブランディングテクノロジー株式会社
コード番号 7067 URL <https://www.branding-t.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 木村 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 木上 翔太

TEL 03-6455-3117

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (説明動画を配信)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,373	12.7	20	76.7	17	80.8	5	
2023年3月期第3四半期	3,864	7.7	89	10.2	91	13.8	57	11.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3百万円 (%) 2023年3月期第3四半期 59百万円 (10.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	3.15	
2023年3月期第3四半期	36.07	35.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,891	1,184	61.9
2023年3月期	2,158	1,210	55.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,171百万円 2023年3月期 1,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		16.00	16.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,515	12.6	30	75.2	28	77.1	2	97.5	1.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

1株当たり当期純利益は、当第3四半期累計期間の期中平均株式数1,599,415株を通期平均株式数と仮定して算出しております。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,599,415 株	2023年3月期	1,625,200 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	株	2023年3月期	25,785 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	1,599,415 株	2023年3月期3Q	1,594,811 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(経営成績の状況)

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における我が国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、行動制限が徐々に緩和され景気が緩やかに持ち直していくことが期待される状況にありました。しかしながら、世界的な金融引締め等を背景とした世界経済の減速懸念、急激な円安や物価高騰等による国内景気への影響を注視する必要性があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような経済情勢においても、当社グループの経営理念である「共存共栄の精神で世の中に新たな価値と笑顔を創出します」を実践し、中小・地方企業様の経営者に対して真摯に向き合う事業推進パートナーとして、常に顧客の想いに応える存在であり続けます。

当社グループの主要事業領域である国内インターネット広告市場は成長を続け、2022年にはテレビ・新聞・雑誌・ラジオのマスコミ四媒体合計を上回る3兆912億円(前年比14.3%増)規模に拡大しており(出所:「2022年日本の広告費」株式会社電通)、社会のデジタル化が進むなかで今後も継続して拡大することが見込まれます。

このような市場環境を背景として当連結会計年度において、当社では引き続き継続的・安定的な事業規模拡大を目指し、主力のデジタルマーケティング事業及びブランド事業に注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,373,234千円(前年同期比12.7%減)、営業利益20,866千円(前年同期比76.7%減)、経常利益は17,563千円(前年同期比80.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は5,031千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益57,527千円)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① ブランド事業

当該事業におきましては、ブランドの「らしさ」を確立したいと考える中小・地方企業様に対して、「ブランドファースト」の考え方を反映した独自フレームワークを軸としたオウンドメディアの構築・運用及び経営サポート、コンテンツマーケティング等を提供し、集客、採用・組織体制・企業文化における課題を解決しております。また、医療・建築・不動産・製造を中心に、3,000社超の既存顧客ネットワークから蓄積された「業界別ノウハウ」をもとに、成長可能性を高めるためのプロジェクト推進ができることを強みとしております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、当初計画していた受注計画に遅れが生じたことから、当第2四半期連結会計期間に改善計画を策定し実行してまいりました。改善計画により、マーケティング活動からの見込み顧客の獲得、受注は堅調に推移していたものの、営業人員による受注獲得は改善計画を下回っております。また利益率の低下の要因となっていた不採算案件については、減少傾向にあるものの、更なる改善が求められる状況となっております。以上より、売上高は1,064,169千円(前年同期比2.0%減)、セグメント利益は169,193千円(前年同期比13.5%減)となりました。

② デジタルマーケティング事業

当該事業におきましては、デジタルシフトを推進しているものの、マーケティング責任者やデジタル責任者が不在でノウハウがなく、マーケティング活動の成果が出ないといった課題を抱える中堅・中小企業様に対して、各種インターネット広告、デジタルコンテンツ制作、WEBコンサルティング等を提供しております。また、当社が擁しているフロント人材が中心となり、現状分析、戦略立案・実行、効果測定までワンストップで提供できることを強みとしております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、地方自治体及び公共団体のデジタルマーケティング支援に注力し、顧客層の拡大を行って参りましたが、前年度に発生した大口顧客との取引縮小の影響により、売上高は2,174,720千円(前年同期比18.1%減)、セグメント利益は158,434千円(前年同期比20.9%減)となりました。

③ オフショア関連事業

当該事業におきましては、沖縄、ベトナムにてオフショア及びニアショア体制を強化することによって、ブランド事業及びデジタルマーケティング事業に対して、高品質なサービスをより安価で提供する体制を築いております。また、当該体制で培ったノウハウを、現地で同等の品質でサービス提供することにより、アジアに事業所を持つ日系企業や現地企業におけるオウンドメディアの構築や、デジタル領域における総合マーケティング支援を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は134,344千円(前年同期比10.4%増)、セグメント利益は12,178千円(前年同期比63.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の分析)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産1,891,979千円となり、前連結会計年度末と比較して266,866千円減少しております。負債合計は707,798千円となり、前連結会計年度末と比較して240,284千円減少しております。純資産は1,184,180千円となり、前連結会計年度末と比較して26,581千円減少しております。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ239,205千円減少し、1,705,817千円となりました。これは現金及び預金が196,483千円、受取手形及び売掛金が43,107千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ27,661千円減少し、186,161千円となりました。これは有形固定資産が10,073千円、無形固定資産が4,483千円、投資その他の資産が13,104千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ142,287千円減少し、666,112千円となりました。これは買掛金が44,039千円、未払法人税等が27,850千円、賞与引当金が18,291千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ97,997千円減少し、41,686千円となりました。これは長期借入金が74,997千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ26,581千円減少し、1,184,180千円となりました。これは前連結会計年度に係る配当金25,590千円の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが主に手掛けている中堅・中小企業様向けインターネット広告市場は、積極的にデジタル化に取り組む企業が増えているなか、マーケティング責任者が不在といった課題を抱えております。当社グループは当該課題解決に引き続き注力し、中堅・中小企業様のデジタルシフトを推進していくことにより、取引の拡大を図るとともに、他社との差別化を図っております。

このような状況のもと、デジタルマーケティング事業においては、既存顧客との取引額が伸長しており、計画を上回る業績で推移しておりました。一方、ブランド事業においては、当初計画していた受注計画に遅れが生じており、売上高は1,382百万円となる見通しです。また、売上総利益につきましては、利益率についても計画との差異が生じており、上記の売上高の減少を理由とするものと合わせて600百万円となる見通しです。

これらの状況を踏まえ、2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の連結売上高は4,515百万円、売上総利益は1,107百万円となる見通しです。

また、業績が堅調なデジタルマーケティング事業の成長投資、ブランド事業の体制再構築に向けた採用費及び教育訓練費等を追加で計上する予定であることから、営業利益は30百万円、経常利益は28百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2百万円となる見通しです。

なお、連結業績予想の修正については、本日(2024年2月9日)開示いたしました「2024年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,318,549	1,122,066
受取手形及び売掛金	507,050	463,942
仕掛品	28,642	36,750
前払費用	83,062	57,768
その他	9,179	27,029
貸倒引当金	△1,461	△1,738
流動資産合計	1,945,023	1,705,817
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	53,665	43,592
有形固定資産合計	53,665	43,592
無形固定資産		
その他	11,928	7,445
無形固定資産合計	11,928	7,445
投資その他の資産		
その他	156,926	143,891
貸倒引当金	△8,699	△8,767
投資その他の資産合計	148,227	135,123
固定資産合計	213,822	186,161
資産合計	2,158,845	1,891,979
負債の部		
流動負債		
買掛金	317,303	273,264
1年内返済予定の長期借入金	106,688	99,996
未払法人税等	33,776	5,925
賞与引当金	42,898	24,607
その他	307,733	262,319
流動負債合計	808,399	666,112
固定負債		
長期借入金	116,683	41,686
その他	23,000	-
固定負債合計	139,683	41,686
負債合計	948,082	707,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,119	52,119
新株式申込証拠金	-	282
資本剰余金	264,319	237,564
利益剰余金	903,264	872,641
自己株式	△26,754	-
株主資本合計	1,192,948	1,162,608
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,258	9,259
その他の包括利益累計額合計	8,258	9,259
新株予約権	5,324	7,607
非支配株主持分	4,231	4,704
純資産合計	1,210,762	1,184,180
負債純資産合計	2,158,845	1,891,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,864,108	3,373,234
売上原価	2,970,693	2,553,945
売上総利益	893,415	819,288
販売費及び一般管理費	803,999	798,421
営業利益	89,416	20,866
営業外収益		
受取利息	23	16
助成金収入	1,840	-
為替差益	4,236	-
受取補償金	1,122	-
その他	241	125
営業外収益合計	7,463	142
営業外費用		
支払利息	1,688	906
持分法による投資損失	90	55
出資金評価損	3,675	758
為替差損	-	651
和解金	-	910
その他	6	165
営業外費用合計	5,461	3,446
経常利益	91,418	17,563
特別利益		
有形固定資産売却益	190	419
新株予約権戻入益	74	-
特別利益合計	265	419
税金等調整前四半期純利益	91,684	17,982
法人税、住民税及び事業税	22,153	11,103
法人税等調整額	11,268	11,437
法人税等合計	33,421	22,541
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,262	△4,558
非支配株主に帰属する四半期純利益	735	473
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	57,527	△5,031

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,262	△4,558
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,718	1,001
その他の包括利益合計	1,718	1,001
四半期包括利益	59,981	△3,556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,245	△4,029
非支配株主に係る四半期包括利益	735	473

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月17日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月31日付で、自己株式25,785株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ26,754千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ブランド事業	デジタル マーケ ティング事業	オフショア 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,086,359	2,656,111	121,638	3,864,108	-	3,864,108
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	36,374	-	133,545	169,920	△169,920	-
計	1,122,734	2,656,111	255,183	4,034,029	△169,920	3,864,108
セグメント利益	195,564	200,214	7,441	403,220	△313,804	89,416

(注) 1. セグメント利益の調整額△313,804千円には、セグメント間取引消去20,359千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△334,163千円が含まれております。

全社費用の主なものは報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ブランド事業	デジタル マーケ ティング事業	オフショア 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,064,169	2,174,720	134,344	3,373,234	-	3,373,234
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,015	-	142,645	157,660	△157,660	-
計	1,079,185	2,174,720	276,989	3,530,894	△157,660	3,373,234
セグメント利益	169,193	158,434	12,178	339,806	△318,939	20,866

(注) 1. セグメント利益の調整額△318,939千円には、セグメント間取引消去△2,525千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△316,414千円が含まれております。

全社費用の主なものは報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。